

質問 恩田議員（自民・山県市）令和7年10月3日（金）

1 若者未来デザイン会議の今後の方向性について

答弁 知事

岐阜県では、これまでも若者の意見やアイデアを施策の参考にするため、ガヤガヤ会議などを通じて県職員が若者と意見交換を行う機会を設けてまいりました。

しかしながら、こうした意見交換の機会を単に県民の意見を聞くだけで終わらせるのではなく、明確に政策として実現させるということに意義があるとの考えから、今年度から「若者未来デザイン会議」をスタートさせたところでございます。

未来デザイン会議では、未来を担う若者から、社会課題に対する政策などの提案を、私が直接受け取るとともに、活発な意見交換をさせていただいており、これまでに4回実施してまいりました。

まさに、議員にご視察いただきました県立岐阜総合学園高校の会議では、学校側が探究学習の課題として「農業」を設定し、そこに農政部の職員が足を運び、課題を投げかけるとともに、実際に農業体験する機会を設けることで、生徒の皆さんが自分事として捉え、しっかりと地に足の着いた、若者らしい提案につながったものと考えております。この中に、昨日国枝議員からご質問いただきました、まさにアグリパークの提案があったところでございます。これらは、今年度、県が策定いたします「新たな農政の基本計画」に施策として反映してまいりたいと考えております。

また、先週は岐南町立岐南中学校の生徒さんたちから「いじめを生まない環境づくり」というテーマで意見交換をさせていただきました。彼らからは、「いじめを生まない社会」を作るためには、人と人とがつながることが重要であるということに気づき、その活動を地域に広げ、園児や高齢者などとの交流を進めておられます。さらに、いじめを生まない社会の根幹に、やはり「発信」と「交流」これが重要である、それを県全体に展開するための施策を私に提案していただいたところでございます。

まさに、中学生の生徒さんたちがいろいろ考えて、周りの人々が幸せになるための方法を考えて、自ら行動し、こうした結論にたどり着かれたことに、大変私自身感激をいたしました。これらの提案についても教育委員会と連携しながら、具体的な施策へ反映できるよう検討を進めてまいります。

今年度の「若者未来デザイン会議」でございますけども、今後10月に、今月でございますけども、坂祝町立坂祝中学校と、そして12月には県内企業の、今度は学校ではなくて、若手社会人で構成されます岐阜県創生研鑽会というこちらの皆様と開催する予定となっております。会議に参加いただく皆様は、既に現状の課題と未来に向けた提案について、真剣に検討していただいていると伺っております。

こうした若い方々の熱心な取組に触れるとともに、頂いた意見や提案につきまして、可能な限り県の政策に反映することで、より県政に直に関わり、「自分たちの意見で未来を変えられる」という実感を得ることにつながる機会にしていきたいと思います。

担 当 課 広報課

電話番号 058-272-1116

メー ル c11103@pref.gifu.lg.jp